

2018年11月5日
株式会社みずほ銀行

三三企業交流会との日台企業の連携に関する 協議書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、三三企業交流会（理事長：許 勝雄、以下「三三会」）との間で、日台企業の連携に関する協議書（以下「本協議書」）を締結しました。

三三会は、1999年に、官民の積極的な協力により、台湾経済の改善を図ることを目的として設立された台湾最大手の経済団体です。現在は、台湾の大手企業67グループと38社の賛助会員から構成され、会員企業全体の売上高は約5,800億米ドルに達します。会員企業と海外企業との交流を通じて、会員企業の事業拡大や海外市場への進出を支援しています。なお、当行は賛助会員として三三会の活動に参加しています。

当行は、1959年に台湾における外国銀行の第1号として支店を開設し、50年以上にわたって台湾経済の発展に貢献してきました。現在は邦銀唯一の3拠点（台北、台中、高雄）を有しており、伝統的な銀行業務に加え、アドバイザー等さまざまな業務を展開しています。

近年、日本企業による台湾進出は一層増加し、台湾企業のグローバル展開は加速しています。本協議書の締結を通じて、当行は日台双方の企業の橋渡し役となり、日台企業の連携を促進していきます。今後、企業連携ニーズを把握し具体化していくための、各種イベント・ミーティングの開催や日台企業へのさまざまなアドバイス等を通じ、支援を強化していきます。

当行は、台湾に投資・進出する日本企業および日本に投資・進出する台湾企業に対するサポートを強化するとともに、これからも日台の経済発展とビジネスの活性化に貢献していきます。

以上